



平成 30/31 年産さとうきび集荷終了!!



昨年 12 月 17 日から開始されたさとうきび収穫は、約 4 ヶ月にわたって島内全域で行われ、4 月 10 日に終了しました。

平成 30/31 年産さとうきびの生産量 114,583 トン（前年比：98.5%）、単収 5,256 キロ（前年比：103.5%）、平均糖度 12.4 度（前年比 112.5%）と面積の減少により生産量は過去最低となったものの単収・糖度ともに前年を上回る結果となりました。

詳細は、下記の通りです。

平成 30/31 年産さとうきび集荷実績 (新光糖業自営・含蜜糖向けは除く)

	面積 (㌃)	生産量 (ト)	生産額 (万円)	単収 (kg)	平均糖度 (度)	平均単価 (円)
西之表市	565	28,803	59,203	5,098	12.69	20,554
中種子町	1,172	66,272	133,640	5,655	12.31	20,165
南種子町	443	19,508	39,276	4,404	12.29	20,133
計	2,180	114,583	232,119	5,256	12.40	20,258
29/30 実績	2,290	116,336	216,131	5,080	11.02	18,578
28/29 実績	2,394	158,209	337,927	6,609	13.00	21,360

出荷最盛期 レザリーリーフファン目揃え会

「4月19日」南種子町花き部会は、長谷集荷場で、レザリーリーフファンの目揃え会を行いました。母の日を前に、レザリーリーフファンの出荷が最盛期を迎え、同部会は、良質な品物の提供が出来るよう、生産者や担当者約30人がレザリーリーフファンの出荷規格や出荷基準の確認を行いました。

葉色の統一等の選別に関する確認や害虫対策、規格ごとでの消費者の使用用途の説明があり、生産者及び関係者の意識統一を図りました。

送られる花をより美しく引き立てるレザリーリーフファンを最高の品質で消費者の皆様にお届けしていきます。

